

一宮市

精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた取り組み

1 県、指定都市、中核市、特別区の基礎情報

愛知県一宮市

総人口	379,538人
世帯数	166,564世帯
自立支援医療受給者数	7,415人
精神保健福祉手帳取得者数	4,347人

一宮市は愛知県の北西部に位置し、北は岐阜県と隣接しています。
市内を23連区に分け地区運営をしています。



基本情報（都道府県等情報）

<基本情報入力シート>

自治体名(記入してください) →

愛知県一宮市

(※「■網掛け」部分及び「●」部分に半角数字で入力してください)

障害保健福祉圏域数 (R5年4月時点)	1	か所
市町村数 (R5年4月時点)	1	市町村
人口 (R5年4月時点)	379,538	人
精神科病院の数 (R5年4月時点)	3	病院
精神科病床数 (R5年4月時点)	604	床
入院精神障害者数 (R3年6月時点)	合計	473 人
	3か月未満(%:構成割合)	132 人 27.9 %
	3か月以上1年未満 (%:構成割合)	107 人 22.6 %
	1年以上(%:構成割合)	234 人 49.5 %
	うち65歳未満	111 人
	うち65歳以上	123 人
退院率 (R●年●月時点)	入院後3か月時点	%
	入院後6か月時点	%
	入院後1年時点	%
相談支援事業所数 (R5年4月時点)	基幹相談支援センター数	1 か所
	一般相談支援事業所数	6 か所
	特定相談支援事業所数	19 か所
保健所数 (R5年4月時点) (自立支援)協議会の開催頻度 (R4年度)	(自立支援)協議会の開催頻度	1 回/年
	精神領域に関する議論を行う部会の有無	有・無
精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた保健・医療・福祉関係者による協議の場の設置状況 (R5年4月時点)	都道府県	有・無
	障害保健福祉圏域	有・無
	市町村	1 / 1
		か所 / 市町村数



2 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた取組概要（全体）

一宮市の施策の位置づけ

令和3年3月策定 第3次一宮市障害者基本計画

第6期一宮市障害者福祉計画

第2期一宮市障害児福祉計画

基本理念 「だれもが人格と多様性を尊重し支え合う共生のまち 一宮」

基本目標2 すき間のない相談支援・情報提供体制の整備

施策3 相談体制の整備

- ・福祉総合相談室の設置：世代や障害を問わない横断的な相談体制
- ・精神障害者家族相談の実施：家族会が相談対応となる窓口の開設
- ・アウトリーチ支援：精神障害のある方の地域生活の安定化のための訪問型支援

基本目標3 健康づくりの促進と保健・医療・福祉の連携

施策1 障害の発生予防と心身の健康づくりの推進

- ・こころの健康づくりの啓発：こころの健康度自己評価票をウェブサイトに掲載等
- ・こころの健康についての相談支援：精神保健福祉相談・健康相談等

3 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた取組の経緯

- 令和3年4月 中核市移行 機構改革により福祉総合相談室を創設
難病患者支援、精神保健福祉事業について県の業務移管を受けるとともに、
生活困窮者支援、障害児者支援、複合的な相談等を受ける相談窓口として設置
- 令和3年7月 令和3年度 一宮市精神保健福祉推進会議を開催
保健、医療、福祉関係者による協議の場として設置
地域の精神科医療機関、市関係機関等との連携の場となる
- 令和4年7月 令和4年度 一宮市精神保健福祉連携会議を開催
- 令和5年7月 令和5年度 一宮市精神保健福祉連携会議を開催
市関係機関(4課)、包括支援センターといった参加者を追加

4 精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築に資する取組の成果・効果

＜令和4年度までの成果・効果＞

課題解決の達成度を測る指標	目標値 (R4年度当初)	実績値 (R4年度末)	具体的な成果・効果
①保健・医療・福祉関係者による協議の場の設置	年1回	年1回	一宮市精神保健福祉推進会議の開催 精神保健福祉事業の推進について、関係機関で協議を行った。 参加機関 13機関
②普及啓発に係る事業	年1回	年1回	統合失調症家族教室の開催 家族等が疾患についての正しい理解や社会資源の活用等について学ぶ機会を設けた。 参加者 30名
③ピアサポートの活用に係る事業	年1回	年1回	こころの病を持つ方の家族教室の開催 家族会に講師を依頼、家族同士の交流を深め、ピアサポートの効果を高める機会を設けた。 参加者 13名

5 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた現時点における強みと課題

【特徴(強み)】

- ・市の福祉部門に精神保健福祉関連事業を置いているため、福祉関連事業との連携ができています。
- ・地区担当制を執り、保健師と精神保健福祉士、社会福祉士が連携して対応している。
- ・障害者基幹相談支援センターや委託障害者相談支援事業の委託担当課であるため、地域の相談支援事業所と密な連携が可能。

課題	課題解決に向けた取組方針	課題・方針に対する役割(取組)	
連携	福祉総合相談室での精神保健福祉事業について、協議の場において周知し、メンタルヘルスに関する課題に対応する市各課や関係機関との連携を深める必要がある。	行政	精神保健福祉推進会議の定期開催
		医療	協議の場への参加
		福祉	協議の場、自立支援協議会等への参加
		その他関係機関・住民等	
普及啓発	正しい知識の普及、精神疾患への理解を促すため、精神障害に関する家族教室の内容の充実を図るとともに、周知方法を拡充していく必要がある。	行政	家族教室の開催と内容の充実
		医療	周知の協力
		福祉	周知の協力
		その他関係機関・住民等	家族会の支援力向上

課題解決の達成度を測る指標	現状値 (今年度当初)	目標値 (令和5年度末)	見込んでいる成果・効果
①一宮市精神保健福祉推進会議の開催	年1回	年1回	関係機関相互の理解役割を深める
②統合失調症家族教室の開催	年1回	年1回	正しい知識の普及と家族の支援力向上を図る
③こころの病を持つ方の家族教室の開催	年1回	年1回	ピアサポートの活用と周知

※指標設定が困難な場合は、代替指標や定性的な文言でも構いません。

6 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築のための連携状況

【にも包括構築の体制】

- ・協議の場を年1回開催し、精神保健福祉事業に関連する関係機関が参加している。
- ・ケース支援を通じて医療機関や福祉事業所との連携を深めている。
- ・基幹相談支援センターと協働し障害者自立支援協議会を運営し、様々な事業を通じて障害のある方の暮らしを支える仕組みづくりを検討している。

所管部署名	所管部署における主な業務
福祉総合相談室	精神保健福祉事業

連携部署名	連携部署における主な業務
保健総務課	自殺対策、医療整備
健康支援課	健康相談、母子保健、産後ケア
障害福祉課	障害者基本計画、障害福祉サービス
高年福祉課	認知症施策、高齢者在宅福祉

各部門の連携状況		強み・課題等
保健	自殺対策や母子保健、健康づくり事業を通じてかかわったケースについて必要時連携して対応している。県保健所に精神科措置入院に関する業務があり、ケースを通じて連携を図っている。	地区担当保健師が個別ケースを対応し、必要時支援機関と連携を取り対応している。県保健所と定期的に連絡会を開催しており、措置入院者の退院後の支援等について連携しながら対応している。
医療	受診支援や退院後支援の必要なケースを通じて連携を図っている。	市内のすべての精神科病院が協議の場に参加しており、定期的に連携を図ることができる。
福祉	基幹相談支援センターにて地域移行に関する会議等を開催している。自立支援協議会の運営や各種会議などを通じて関係機関との連携を深めている。	地域移行に関する会議を開催し医療機関等と連携を図っている。基幹相談支援センターに市職員の配置があり、常時情報共有ができる
その他関係機関・住民等	協議の場に家族会が参加している。	家族会に精神障害者家族相談事業を委託しているため、市で相談内容を把握し連携をとることができる。

※各部門の状況はできるだけ詳しく記載ください

7 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築のための協議の場の実施状況

名称	協議の場の構成員	開催頻度	実施内容	特記事項等(課題・強み等)
一宮市精神保健福祉推進会議	市内精神科医療機関、県関係機関(警察、県保健所)、労働関係機関(公共職業安定所)、家族会、相談支援機関(障害者基幹相談支援センター、地域包括支援センター)、市関係機関(社会福祉協議会、健康支援課、保健総務課、学校教育課、消防救急課、子ども家庭相談課、障害福祉課、高年福祉課)	年1回	1報告 (1)一宮市精神保健福祉(事業)体系の説明 (2)一宮市の精神保健福祉の現状について説明 (3)令和4年度福祉総合相談室の精神保健福祉事業実績の報告 (4)事例報告 2議事 令和5年度福祉総合相談室の精神保健福祉事業について	関係機関との連携体制の構築 精神保健福祉事業の理解の促進 家族教室の周知の拡充

【その他事項】 ※協議の場運営における課題や悩んでいる点、アドバイザーに相談したい事項など、自由に記載ください

8 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた今年度の取組スケジュール

時期(月)	実施する項目	実施する内容
令和5年5月	ピアサポート	こころの病を持つ方の家族教室を開催
令和5年7月	協議の場	令和5年度 一宮市精神保健福祉推進会議を開催
令和6年2月	普及啓発	統合失調症家族教室を開催